

イエスカルタ® と ブレヤンジ®の適応

組織型による適応

	イエスカルタ	ブレヤンジ
DLBCL	○	○
PMBCL	○	○
t-FL	○	○
t-indolent lymphoma (FL以外)	×	○
HGBCL	○	○
PCNSL	×	×
FL G1, 2, 3a	×	○
FL G3b	×	○

患者背景による適応

	イエスカルタ	ブレヤンジ
allo HSCT歴	×	○
CNS浸潤あり	×	○
PS 0-1	○	○
PS 2	×	○*

*臨床状態を考慮し投与の可否を判断すること

	イエスカルタ	ブレヤンジ
再発・難治LBCL/FL G3b		
1LにてCR達成後/治療終了後12ヶ月を超えてから再発し、 2LでASCTに適応あり	✗ (治療終了後12か月)	✗ (CR達成後12ヶ月)
ASCT適応なしで、化学療法が1Lのみ	✗	○
Ritおよびアントラサイクリン系抗がん剤を含む化学療法 歴がない	✗	✗
Richiter形質転換の既往	✗	✗
他の悪性疾患の既往	✗ (3年以内の既往)	✗ (2年間の寛解未達)
再発・難治FL G1, 2, 3a		
抗 CD20 抗体を含む多剤併用療法歴のない患者	適応なし	✗
allo SCTから90日以内		✗
他の悪性疾患の既往		✗ (2年間の寛解未達)
2Lでの使用の場合、POD24or 改変GELF基準*に該当し ない		✗

a) 濾胞性リンパ腫に起因する症状 (B 症状に限定されない)

b) 切迫した臓器機能障害、リンパ腫に起因する血球減少又は bulky 病変 (7 cm を超える腫瘍が1 つ又は3 cm を超える腫瘍が3 つ以上)

c) 脾腫

d) 6 カ月以上にわたる持続的な増悪

移植適応別早見表

LBCL

		イエスカルタ		ブレヤンジ	
		移植適応	移植非適応	移植適応	移植非適応
前治療数： 1ライン	Primary refractory	○	○	○	○
	CR後≤12ヶ月再発	○	×	○	○
	CR後>12ヶ月再発	×	×	×	○
前治療数：2ライン以上		○	○	○	○

LBCL 2nd lineでのCAR-T

- Primary refractoryはどちらでも可
- Early relapseは移植適応はどちらでも可、非適応はLiso-celのみ
- Late relapseは移植適応は移植へ、非適応はLiso-celは可